

2025 年度 研究サマリー

研究会名称	千葉大学先端応用外科学教室記念事業	
代表者所属	千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学 名誉教授 千葉大学第二外科・先端応用外科 同門会 副会長	 
代表者氏名	松 原 久 裕	
研究方法・結果 2025 年度においては、計画に基づき下記の研究等を行った 1) 千葉大学先端応用外科教室記念事業： 2026 年は教室開講 100 周年を迎えるため、記念事業を予定している。教室における業績を振り返り、進歩の過程を検証することを目的とし、これを見据えて昨年度に引き続き運営会議を学内で開催し準備を行った。優れた外科手術手技の伝承に寄与すべく過去の膨大な手術記録を確認整理し、リスト化した貴重な映像を更に細分化し系統立て整理した。さらに中山式手術器具保存箱を収納する為のキャビネットを購入した。また、教室出身者は他の医療機関にて指導的立場で診療・研究を行っており、引き続き各方面で資料収集を行っている。 2) 教室開講 100 周年記念講演会・記念誌： 2025 年 3 月 30 日、千葉大学第二外科・先端応用外科学の開講 100 周年を記念し、記念行事の一環として記念講演会を行った。これを纏め記念誌として 2026 年 2 月に発行した。 3) 食道癌、胃癌、大腸癌および腎臓移植における治療成績向上のための基礎及び臨床研究、手術法の開発： 消化器癌の発癌、転移、浸潤などのメカニズムを解明し、さらに治療に応用すべくバイオバンクを整備し基礎的研究を強化している。また、それぞれの疾患分野にて診断治療の最先端となる臨床研究も進めており、学会発表・論文発表を引き続き行った。胃癌、大腸癌などへのロボット手術などの手術症例数も着実に増加している。特にロボット手術の飛躍は著しく、大腸癌手術では半数以上がロボット手術で行われている。また腎臓移植においては、生体・死体ともに着実に臨床数が増えており、多くの患者様が社会復帰を実現した。 4) 腎臓移植に関わる教育啓蒙活動： 昨年に引き続き JR 千葉駅前にて街頭キャンペーンを行った。また 2025 年 5 月に千葉県立幕張総合高等学校、2026 年 1 月に淑徳大学において、臓器提供、腎移植に関する講演を行った。 -次頁に続く-		

研究成果（論文・学会発表・雑誌掲載等）

○学会発表

- 丸山 通広 臓器移植におけるメディカルスタッフの現状と課題
ポスターセッション、第 125 回日本外科学会、2025 年 4 月 10 日、仙台
- 関野 伸史 食道扁平上皮癌における化学放射線療法後 Nivolumab の治療効果
サージカルフォーラム、第 125 回日本外科学会、2025 年 4 月 11 日、仙台
- 松本 泰典 内科的減量を得た症例に減量・代謝改善手術は有効か
ワークショップ、第 125 回日本外科学会、2025 年 4 月 12 日、仙台
- 栃木 透 当科における遺伝性大腸癌診療の現況と取り組み
パネルディスカッション、第 125 回日本外科学会、2025 年 4 月 12 日、仙台
- 丸山 通広 摘出に難渋した心停止ドナーからの腎摘出術
一般演題、第 51 回日本臓器保存生物医学会総会、2025 年 11 月 7 日、八王子
- 平田 篤史 直腸-術前治療-1
サージカルフォーラム、第 125 回日本外科学会、2025 年 4 月 12 日、仙台

○講演

- 丸山 通広 千葉県内腎移植施設における施設間連携の現状
千葉 Transplant conference Season2
2025 年 11 月 27 日 千葉市

○雑誌掲載

- 伊藤 泰平、Taihei Ito, Michihiro Maruyama, et al.
丸山通広他 Potential of Kidney exchange programs (KEPs) in Japan for donor-specific
antibody-positive kidney transplants
Journal of clinical medicine 2025;14(17):6122